

事例番号:280058

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第二部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 0 日 陣痛発来の主訴で入院

4) 分娩経過

妊娠 40 週 1 日

16:00 陣痛開始

23:00 胎児心拍数 60 拍/分台まで低下、回復

23:10 自然破水、羊水混濁(±)

23:30 内診、子宮口全開大

妊娠 40 週 2 日

0:32 経膈分娩

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:40 週 2 日

(2) 出生時体重:3075g

(3) 臍帯動脈血ガス分析値

pH 7.302、PCO₂ 37.4mmHg、PO₂ 20.4mmHg、HCO₃⁻ 18.1mmol/L、BE -7.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等

生後 4 日 退院

生後 24 日 髄液検査でヘルペス PCR 陽性

生後 96 日 単純ヘルペス脳炎(中枢神経型)

(7) 頭部画像所見

生後 18 日 頭部 MRI で拡散強調画像で左前頭葉ならびに左側頭葉の皮質から皮質下に異常高信号あり。右前頭葉にも同様の所見あり

生後 24 日 頭部 CT で高吸収域が主に両前頭葉、左側頭葉に広がりあり

6) 診療体制等に関する情報

(1) 診療区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 単純ヘルペス脳炎による脳性麻痺と考える。

(2) 単純ヘルペスウイルスの感染経路や感染時期は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 分娩中の管理は一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。

3) 新生児経過

新生児の管理は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

新生児ヘルペス脳炎の疫学調査を実施し、患者のリスク因子と予防法を明らかにすることが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

学会・職能団体の新生児ヘルペス脳炎の研究を促進するため、経済的および人的な支援をすることが望まれる。